

# 平成23年度 第1回学校評議員会報告

長野県須坂園芸高等学校

I 日時 平成23年6月7日(水) 16時00分～17時10分

II 場所 須坂園芸高等学校会議室 他

## III 内容

### 1 開会

### 2 委嘱状交付(学校長)

平成23年度 須坂園芸高等学校評議員の皆様方(敬称略)

氏名	役職
勝山 正弘	アスザック(株)総務部人事チーム・マネージャー
樽井 清三	北信造園組合長
村石 勝重	南横町区長
飯島 章彦	県農業試験場長
伴野 健	須坂市立東中学校長
村石 正郎	同窓会長
川浦美奈子	P T A副会長

### 3 学校長挨拶

### 4 出席者自己紹介 評議員 学校職員

### 5 本校の概要と現況説明 ※それぞれ各主任、担当者が説明

- (1) 学校概要
- (2) 学校評価(本年度の計画)
- (3) 進路状況
- (4) 生活状況
- (5) 農場概要
- (6) 生徒会
- (7) P T A

## 6 意見交換 【学校評議員の方々からのご意見・ご質問など】

- \* 地域との連携や交流活動、特に須坂市との連携（園芸塾・信州すざか農業小学校豊丘校など）は高く評価できるものである。
- \* 昨年度の中退者の状況はどうなっているか。また、全国的にも二トや引きこもりが増加している中、職業観や勤労観の養成を教育目標の一つとしている園芸高校では、どのような指導や取り組みをしているのか。

(学校より)

本校では今までも、長期休業中に多くの生徒が先進農家での実習やさまざまな事業所・企業等への校外研修に参加するなど、実際の体験を通して職業観の養成に努めてきている。これらの教育活動を基盤として今年度からは年3回の「キャリアウィーク」を学年ごとに設定して、「キャリア教育」としての体系的な取り組みをめざしている。5月後半に行われた第1回キャリアウィークでは、1年生は「自己理解」「仲間づくり」を、また2年生は「企業見学」「新聞活用による職業調べ」をキーワードにさまざまな学習・研修を行った。特に2年生は、地元企業のご協力により会社見学をさせていただき、あいさつの大切さやコミュニケーション力の必要性を身を持って感じ取ることができた。今年度一年間をかけて、キャリア教育の体系化を進めていく計画である。

- \* 現在の企業の状況は、景気が良い企業もあれば悪い企業もありさまざまである。また、一つの企業内でも、非常に伸びている部署もあれば足を引っ張ってしまう部署もある。このような中で就職をめざす高校生にとっては、とにかく早めに準備をすることが何より大切である。
- \* 造園業界も景気が良いとはいえ、非常に厳しい。造園業に就職した造園科の生徒の中には、学校で学んだことと実際の仕事のギャップを感じる者もいるのではないか。
- \* 毎年何人かの生徒が造園業に就職しているが、今後を考えると、地元の造園会社への就職だけでなく、学校として関東方面の大きな造園会社も開拓していく必要があるのではないか。
- \* 地域の住民として園芸高校の生徒は良い生徒になったと感じる。朝の挨拶もしっかりできているし、登校してくる生徒に話しかけるときちんと答えてくれる。社会の中で必要なマナーやルールを指導している結果が表れており、さらに磨きをかけてほしい。社会で必要なマナーやルールを教えることは、学力をつけることとともに学校が本来すべき重要な教育であると思っている。
- \* 農業は、やり方によってはこれから有望な産業となりうると考えている。農業を学んでいる園芸高校の生徒には、就農を含めて農業関係の就職をぜひ進めていってほしい。
- \* 農業試験場としても、園芸高校の生徒の学習や研修の受け入れを含めてキャリア教育の支援を進めていきたいと考えている。
- \* 保護者の立場として学校には大変お世話になっている。就職が厳しい現在、就職希望からやむなく進学に変更せざるを得ないケースが増えており、そのような生徒に対して適切な指導をお願いしたい。このようなケースでは就職から進学への気持ちの切り替えが難しい面もあり、また進学への意識付けや進学先決定までの方法などについて、早めの指導、より一層ていねいで細やかな指導をしていただきたい。

## 7 今後の予定について

第2回評議員会	11月18日(金)	収穫祝、生徒との懇談
第3回評議員会	2月21日(火)	年間まとめ

## 8 学校長より

## 9 閉会